科目名			担当教員	
社会保障論Ⅱ			阿部　裕二	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CD4089	2	1	RorSR（講義）	3年以上
履修登録条件		「社会保障論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録する方のみが履修登録できます。		
生成AI利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

時代とともにそして私たちの社会の変容とともに、社会保障制度は改正され続けてきました。介護保険のように新たに創設された制度もあります。本科目においては、これら社会保障制度の体系を踏まえた上で、それぞれの制度（社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生及び医療）の概要と問題点について考察します。その際、各制度を縦割りではなく横断的視点から考察していくことが重要です。それは、私たちの生活において制度が単独で存在するわけではなく、各制度が関連性をもちながら関わるからに他なりません。

さらに、日本との比較の観点から、諸外国の社会保障制度の概要についても触れつつ、日本の社会保障制度の国際的な位置づけについても学びます。

【教員等の実務経験による指導内容】

社会保障に関する各種公開講座の講師や年金委員の経験をいかし、実例をあげながら講義を進めていきます。

■到達目標

1）社会保障制度の概要を理解し説明できる。

2）諸外国の社会保障制度を理解したうえで、日本の位置づけを説明できる。

3）少子高齢社会におけるあるべき生活保障システムを自らの言葉で説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「俯瞰的な分析力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「社会保障論Ⅰ」と共通）

福祉臨床シリーズ編集委員会編『新・社会福祉士シリーズ12 社会保障（第2版）』弘文堂、2025年

※「社会保障論Ⅰ」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、配付する資料を中心にして講義を行います。

【参考図書】

1）阿部裕二監修『すぐに役立つ！ケアマネ、生活相談員、生活支援員のための社会保障制度がわかる本』ナツメ社、2021 年

2）椋野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障（最新版）』有斐閣アルマ

3）『社会保険のてびき（最新版）』社会保険研究所

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

本講義のテーマは、「社会保障制度の仕組みと課題を理解し、あるべき社会保障のシステムを考えてみよう」です。スクーリングの際に提示される内容の理解にとどまらず、それらを素材としながら、受精の皆さんがあるべき社会保障のシステムを考えていくことが重要なのです。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	社会保障制度の体系と年金保険の概要	社会保障制度の体系を改めて確認するとともに、年金保険の仕組みを学びます。
2	年金保険制度の諸問題	年金保険（国民年金、厚生年金）の概要と諸問題について学びます。
3	医療保険制度の概要	医療保険制度の仕組みと健康保険や国民健康保険などの制度概要について学びます。
4	医療保険制度の諸問題	高齢者医療や公費負担医療、医療供給体制を考察しつつ、医療保険の諸課題について学びます。
5	雇用保険制度と労働者災害補償保険制度の概要と諸問題	雇用保険や労働者災害補償保険などの労働保険の仕組みと諸課題について最近の状況を交えながら学びます。
6	介護保険制度の概要と諸問題	介護保障という観点から介護保険の限界と、その他の受け皿の在り方および諸課題について学びます。
7	社会手当と公的扶助の概要と諸問題	社会手当としての児童手当などの仕組みと諸課題について学びます。
8	社会保障制度の課題と将来（まとめ）	2025 年問題、2040 年問題など、社会保障が直面する社会状況を踏まえながら、あるべき社会保障システムを考えます。
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

スクーリング時には、作成した『理解しやすい社会保障論Ⅱ講義資料集』を配付して、この資料集を中心にして講義を行います。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

スクーリング試験のみ（100%）（持込不可）で評価します（稀ですが受講態度を加味する場合もあります）。試験では 2 題を選択して解答（記述式）していただきます。なお、試験では単なる知識の確認ではなく、スクーリングで

学んだ内容を踏まえた上で、試験テーマに沿って皆さん自身の見解をどれだけ論述できるかについて問います。詳しくはスクーリング時に示します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

「スクーリング講義内容」（8 項目）の項目に該当する部分を教科書に沿ってある程度読んで出席してください。つまり、少ない講義回数のなかで、少しでも内容の理解を深めるためには、予習・事前学習が欠かせません。もちろん、すべて完璧に覚えてきてくださいというわけではありません。受講した際に、「なんかその言葉は聞いたこと、見たことがあるぞ。なるほど、あそこに書いてあったことは、そういうことだったのか」という程度で結構です。

私としては、ある程度、予習・事前学習をされてきたことを前提として講義を進めたいと考えています。万一、事前学習なし（準備不足）の場合は、苦痛でしかも怒濤のように時間だけが過ぎ去ってしまうかもしれません。皆さんにとって、有意義な時間が共有できるように努めますし、同時に祈念しております。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	公的年金の構造（第６章）	二階建てとしての年金保険の構造について理解する。 キーワード：賦課方式と積立方式、二階建て構造など	公的年金の財政方式とともに、国民年金と厚生年金の二階建て構造であることを学ぶ。
2	公的年金保険（国民年金）の仕組み（第６章）	年金保険制度特に国民年金の仕組みを理解する。 キーワード：第３号被保険者、基礎年金、国民年金基金など	国民年金の給付内容を含めた仕組みについて理解を深めましょう。
3	公的年金保険（厚生年金保険）の仕組みと諸問題（第６章）	厚生年金保険の仕組みと、公的年金が抱える問題点について理解する。 キーワード：標準報酬、保険料率、老齢厚生年金、障害厚生年金、遺族厚生年金、厚生年金基金、空洞化など	厚生年金保険の仕組み、つまり保険者、被保険者、保険料、給付内容等について学びます。その際、国民年金と比較しながら整理をすると理解が深まります。また、同時に、公的年金が抱える問題点についても人口の変動、空洞化、国際化の観点から考察してみてください。
4	医療保険制度の仕組みと制度体系（第７章）	わが国の医療保険制度の仕組みを理解しつつ、医療保険制度の体系について整理する。 キーワード：診療報酬、審査支払機関、出来高払い、薬価基準など	私たちの生命や身体そして健康を保持するための医療とそれを支える社会保障はどのような構造か、さらにわが国の国民医療を支える医療保険はどのような仕組みで作られているのか等について学びます。その際、世界の中で日本はどのような特徴をもっているのかという観点からも考察してみてください。
5	被用者保険の仕組み（第７章）	被用者保険の一つとしての健康保険などの仕組みについて理解する。 キーワード：健康保険、現物給付、現金給付、立替払いなど	被用者保険（健康保険等）の内容の理解に努めます。その際、健康保険制度の給付は、現物給付だけではなく、多様な給付形態が含まれていることに注意が必要です。

6	国民健康保険、高齢者医療の仕組み （第７章）	国民健康保険と高齢者医療制度の仕組みについて理解する。 キーワード：前期高齢者、後期高齢者、特定健康診査及び特定保健指導など	地域保健である国民健康保険の仕組みを学びます。また、高齢者の医療制度を前期高齢者医療と後期高齢者医療制度の側面からまとめます。その際、各々の制度の類似点と相違点を意識しながら整理することが肝要です。
7	公費負担医療と医療の供給体制および諸問題 （第７章）	特定目的のため、国や地方自治体の公費により、医療費の一部または全部負担する制度を理解するとともに、医療の供給体制について理解する。 キーワード：公費負担医療、公衆衛生、医療提供施設、医療計画、医療従事者、メディカル、コメディカル、インフォームド・コンセントなど	医療保険以外の保健事業を概観します。また、国民に対して、良質かつ適切な医療を提供するための医療施設と、医療を担う医療関係者について学ぶとともに、医療保険が抱える諸問題について理解することが重要です。
8	労働保険制度（雇用保険）の仕組みと諸問題 （第８章）	労働保険の一つである雇用保険の仕組みと諸問題を理解する。 キーワード：ハローワーク、失業等給付、育児休業給付、二事業など	雇用保険の仕組みと諸問題を学びますが、雇用保険の対象者が失業者のみならず現職者をも対象としていることから、自らの生活に身近な制度あるという意識で学んでください。
9	労働保険制度（労災保険）の仕組みと諸問題 （第８章）	労働保険の一つである労働者災害補償保険の仕組みと諸問題について理解する。 キーワード：労働基準監督署、メリット制、社会福祉促進等事業など	労働者災害補償保険の仕組みと諸課題について学びます。その際、労働者災害補償保険は、正規、非正規を問わず雇用される労働者すべてが対象となる制度あるという理解が重要です。
10	介護保険制度の仕組みと諸問題 （第９章）	介護保険の成立背景と理念およびその内容、諸問題について理解する。 キーワード：高齢者介護、スティグマ、社会的入院、介護の社会化、自立支援、利用者本位、地域包括ケアなど	介護保険がいかなる背景において登場したのか、そして現在ある介護保険はどのような理念のもとに展開されているのかを学びます。その際、その理念に潜む問題点についても制度の仕組みとともに考察してください。
11	社会扶助（社会手当：児童手当）の仕組みと諸問題 （第 10 章）	社会手当手の特徴と、社会手当の一つである児童手当の仕組みと諸問題について理解する。 キーワード：社会手当、児童手当、子ども手当、所得制限など	ここでは、初めに社会扶助の一形態である社会手当の意味を理解することに努めます。その上で、社会手当としての児童手当の仕組みと日本的特徴および諸問題について理解を深めてください。
12	社会扶助（公的扶助と社会福祉）の仕組みと諸問題 （第 10 章）	公的扶助および社会福祉の仕組みと特徴と諸問題を理解する。 キーワード：生活保護、ミーンズ・テスト、措置と契約など	その際、社会保険と比較しつつ理解するとよいでしょう。また、社会福祉の制度が「措置」から「契約」へと基本的なサービス提供の方法において、大きく変化を遂げていることに留意しながら理解することが肝要です。

13	諸外国の社会保障制度 （第 11 章）	諸外国の社会保障を概観しながら、日本社会保障および福祉国家の特徴を把握する。 キーワード：エスピン・アンデルセン、自由主義的福祉レジーム、保守主義的福祉レジーム、社会民主主義的福祉レジームなど	諸外国における社会保障制度をみる際に、類型化させながらみると特徴の把握がしやすくなります。したがって、エスピン・アンデルセンの類型に従って、各国の社会保障の特徴の把握に努めましょう。そして、わが国と比較してみるとよいでしょう。
14	社会保障制度の将来 （終章）	直面する課題から社会保障制度への影響について理解する。 キーワード：2025 年問題、2040 年問題など	2025 年問題や 2040 年問題などが社会保障に及ぼす影響について考えてください。
15	まとめ	あるべき社会保障システムについて考える。	この学びを通じて、受講生の皆さんなりのあるべき社会保障のシステムを考えてみてください。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	「年金保険」「医療保険」「雇用保険」「労働者災害補償保険」「介護保険」「社会手当としての児童手当」のなかから一つ選び、仕組みとその制度が抱えている諸問題について述べなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

「年金保険」「医療保険」「雇用保険」「労働者災害補償保険」「介護保険」「社会手当としての児童手当」の制度から一つを選び、特徴を踏まえながら仕組みをまとめるとともに、制度がもつ諸問題について皆さんなりにまとめてください。その際に、単にテキストをまとめるだけではなく、自分なりに調べて課題を追加的に論述することが重要です。

科目修了試験

■評価基準

1）題意を正確に把握し、指示に従って述べられているか。

2）単に暗記したものを記述するのではなく、自分なりの視点からまとめられているか。

3）抽象的な表現にとどまらず、現実との関連づけの視点からもまとめられているか。

4）結論は感想にとどまらず、根拠をもって述べられているか。